

起案用紙（産業建設常任委員会記録用）

(1号)

議長	副議長	委員長	事務局長	局長補佐	係長	担当	文書取扱主任
起案日	平成 28 年 12 月 日			処理区分	<input type="checkbox"/> 重要 <input type="checkbox"/> 至急 <input type="checkbox"/> 例規 <input type="checkbox"/> 公示 <input type="checkbox"/> 議案 <input type="checkbox"/> 秘		
決裁日	平成 28 年 12 月 日			保 存	<input type="checkbox"/> 永 <input checked="" type="checkbox"/> 10 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 即廃		
登録番号	四 議 第 号			公 開	非公開理由		
分類番号	04 - 02 - 02			<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 時限非公開 (公開)	四万十市情報公開条例第9条に該当 ()		
簿冊番号	04 - 04						
委員会名	産業建設常任委員会			会議年月日	平成 28 年 12 月 16 日 (金)		
				会議時間	10時00分 ~ 11時10分		
出席委員	委 員 長 山崎 司			委 員 川村 一朗			
	副 委 員 長 垣内 孝文						
	委 員 宮本 幸輝						
	委 員 白木 一嘉			欠席委員			
	委 員 勝瀬 泰彦						
その他	議 長 矢野川 信一						
執行部出席者	観光商工課長 山本 牧						
	" 課長補佐 谷口 公久						
	" 課長補佐 原 憲一						
	まちづくり課長 地曳 克介						
	" 係長 小野 宏之						
	" 係長 津野 智宏						
	農林水産課長 篠田 幹彦						
	産業建設課長 小谷 哲司						
	上下水道課長補佐 宮村 佳三						
事務局	事務局長 杉 内 照 代						
	総務係長 田 中 雄 一						
記 録							
平成 28 年 12 月 定例会において、当委員会に付託された議案 7 件の審査のため、委員会を開催しました。その概要については以下のとおりです。							

(2号)

記 録

■まず「追加議案」について所管課から報告を受けた。概要は次のとおり。

「上下水道課長補佐」 追加議案についてお願いしたい。内容は、国の交付金確定に伴い12月補正で、大宮統合簡易水道施設整備事業の減額補正をお願いしたが、その後、単独事業費分については、工事内容の変更に伴う増額補正が必要であることが判明した。このため、必要額を追加提案させていただきたい。補正額は、資料のとおり、1206万7000円の増額で工事概要は、配水池、配水・給水管、消火栓などの整備である。

■次に分割付託を受けた「第1号議案 平成28年度 四万十市一般会計補正予算(第3号)」について、執行部から説明を受け、審査を行った。審査の結果、全会一致で原案のとおり決した。概要は次のとおり。

4款4項

「上下水道課長補佐」 4款4項は、特別会計補正予算で説明を行う。

6款1項2目 農業総務費～7目 農業基盤整備事業費まで

「農林水産課長」 2目 農業総務費の県営事業負担金であるが、国の追加割り当てがあり、年間経費の見直しによる補正である。農地整備費は、入田・三里・利岡の県営事業負担金が増額となる。今回の補正で、入田地区は、ほぼ完成する。三里は実施設計と一部、面工事を予定、利岡は実施設計を行う予定である。

排水機場の長寿命化は、国の割り当てがなかったため、減額する。四万十大橋の耐震化は、予算が当初より低くなる見込みのため、減額をお願いするものである。ため池整備は、古津賀のコッカン谷の分であるが国の補正により、着手できるようになったため、補正をお願いするものである。

次に3目 農業振興費の被災農業者向け経営体育成支援費であるが、台風16号で被災を受けたハウスについて、国から支援が受けることができるもので、市内4件から要望があり、補助金を交付するものである。

6目 農業施設維持費は、蕨岡の排水機場の補修分である。7目 農業基盤整備事業費は、国の割り当て減による補正で、また中山間地域所得向上支援費は、今回、新たに手を挙げたものである。

「産業建設課長」 3目の中山間農業複合経営拠点整備であるが、議員の質問にあった簡易ハウスの整備費である。事業費160万程度で2/3に補助となる。下段の農業経営法人化等支援費であるが、集落営農組織への国からの定額補助金である。

【白木議員】 排水機場長寿命化は、全て実施しないということか。

「農林水産課長」 本年度、楠島と江ノ村について要望していたが、ストックマネジメントの事業で、予算つかなかったため、減額するものであるが、今後も要望はしていく。

【勝瀬委員】 橋とため池は、どのような工事か。

「農林水産課長」 四万十大橋は、落橋防止ということで連結ケーブルというもので施工される予定である。右岸、左岸の2カ所の予定で、県の耐震診断なども実施しているが、その調査に基づく工事である。ため池事業は、老朽化が進んでいるため、ため池自体を強固なものにする工事である。

6款2項 林業費

「農林水産課長」 地域林業総合支援事業は、2tダンプ購入費で県から内示があったため、補正をお願い

記 録	
	するものである。林業事業体は、西土佐村森林組合である。 ※質疑はなく終了した。
7款1項1目	商工総務費～4目 企業誘致対策費まで
「観光商工課長」	3目 観光費では、歴史観光資源等強化事業と四万十流域サイクルロード整備事業費を計上させていただいている。歴史観光資源等強化は、3月4日から始まる歴史博のオープニングイベントに向けた予算である。内容は、チラシ作成、公家の衣装のクリーニング代、看板代などである。四万十流域サイクルロードは、企業版であるため、企業にあいさつに行く旅費代である。
	4目は、コンタクトセンターの支援であるが、当初、正社員10名、契約社員5名の雇用を予定していた。結果2名しか人員が確保できなかったため、減額補正を行うものである。
【宮本委員】	資料館の工事を行うと思うが、高知県の事業を実施する際、ダブる期間があるのでは。
「観光商工課長」	開幕に、若干、間に合わない。その分は、公民館に移させていただくこととなっている。
【宮本委員】	若干とは、どのくらいか。
「観光商工課長」	歴史博は、2年間あるが、その中の1年弱は閉めさせていただく。
【宮本委員】	せっかく会場になったのに残念だ。
【垣内委員】	4目の企業誘致であるが、以前、リースの減額（ブースの縮小）と説明を受けたと思うが。
「観光商工課長」	リースにつきましては、ブースが50で試算していたが、確認したところ55ブースであった。これについては、増額になっている。 ※他に質疑はなく終了した。
8款1項1目	土木総務費～4目 道路新設改良費まで
「まちづくり課長」	2項2目 道路橋梁等維持費であるが、台風16号による追加分である。4目 道路新設改良費であるが、社会資本整備総合交付金事業は、入田・三里線の整備である。入田の圃場整備をしている付近であるが、田んぼの中に新たに道路を整備する。延長は350mとなる。
「産業建設課長」	2項2目 委託料であるが、台風16号により、工事費を使い切ってしまったため、今後の冬場にかけての維持費の追加をお願いしたいものである。防災・安全社会資本整備のうち、4500万円程度は、市道藤の川線の整備費で国から交付金の割り当て増となったものである。文化的景観保護推進費は、国からの割り当てが減となったものである。大規模修繕・更新事業であるが、西土佐大橋分で国の割り当ての増による補正である。 ※質疑はなく終了した。
8款3項	河川費～5項 下水道費まで
「まちづくり課長」	1目 河川総務費であるが、台風16号の被災によるものである。3目 がけ崩れは、本庁分200万、支所600万円となっている。
「上下水道課」	5項は、特別会計の方で説明する。 ※質疑はなく終了した。
11款1項	農林水産施設災害復旧費～4項 その他公共・公用施設災害復旧費まで
「農林水産課長」	2目 農業施設現年発生単独災害復旧費は、台風16号による災害も含め、当初予想を超える事業があり、査定を受けての増額となる。3目も同様である。

記 録

「まちづくり課長」 11款2項3目であるが、台風16号により被害を受けたもので、河川31件、道路23件の計54件であった。

【宮本委員】 農業用も何件か聞きたい。

「農林水産課長」 28年の単独は、市全体で13件であった。補助の災害は、16件になる。

※他に質疑はなく終了した。

繰越明許費

6款 農林水産業費

「農林水産課長」 国の補正によるもので、年度内の完成が困難であることから繰り越しをお願いしたい。

※質疑はなく終了した。

8款 土木費

「まちづくり課長」 国の割り当てがきたのが、10月であったため、適正工期がとれないことから繰り越したい。入札も不落ということもある。 ※質疑はなく終了した。

11款 災害復旧費

「農林水産課長」 工期を考え繰り越しをお願いするものである。内訳は、田3件、水路2件、頭首工3件でお願いしたい。

「まちづくり課長」 査定が12月と非常に遅いため、適正な工期がとれないことからお願いしたいもの。

【宮本委員】 余裕をもった工期で発注すべきで、そうすれば入札不落にはならないと思うが。

「まちづくり課長」 雨がふり、作業が出来なことも想定して工期をとっている。しかし、長雨となったり、雪が降ったりなどにより、出来なかったという場合もある。その場合は、天候などの資料を添付してもらい担当職員と協議をし、甲乙の判断で工期延長なども対応している。

【宮本委員】 研究をお願いしたい。

「まちづくり課長」 年2回程度、建設協会とも解決策などを協議している。

※他に質疑はなく終了した。

■次に「第3号議案 平成28年度四万十市下水道事業会計補正予算（第3号）」について執行部から説明を受け、審査を行った。審査の結果、全会一致で原案のとおり決した。概要は次のとおり。

歳出「上下水道課」 汚泥搬入量の増加に伴い幡多広域市町村圏事務組合への負担金の増額となったもの。

※質疑はなく終了した。

歳入 ※説明、質疑はなく終了した。

■次に「第6号議案 平成28年度四万十市簡易水道事業会計補正予算（第2号）」について執行部から説明を受け、審査を行った。審査の結果、全会一致で原案のとおり決した。概要は次のとおり。

歳出「上下水道課」 冒頭説明した大宮統合簡易施設整備の補正である。後川・蕨岡・佐田・大宮の各整備事業費は、国の補助金割り当ての減少による工事費の減額である。大宮については、布設替え工事は国の補

記 録

助事業であるが、各家庭へ引き込む給水管は、市の事業となる。今回、単独事業分の増額が必要ということが判明した。このため1200万円あまりの補正を最終日に追加提案したい。

【山崎委員長】 小休にします。 — 小休中 —

正会に戻します。 ※質疑はなく終了した。

歳入「上下水道課」 国の交付金の減によるものである。 ※質疑はなく終了した。

繰越明許費「上下水道課」 西部統合簡易水道の配管ルートは、県による道路改良ルートとしていたが、地権者の承認が得られず中断している状況である。今後、別ルートを検討するため、繰越をお願いするもの。

※質疑はなく終了した。

地方債「上下水道課」 ※説明、質疑はなく終了した。

■次に「第13号議案 平成28年度四万十市一般会計補正予算(第4号)」について審査を行った。審査の結果、全会一致で原案のとおり決した。

※職員給与の支給率の変更につき、説明、質疑はなく終了した。

■次に「第18号議案 平成28年度四万十市下水道事業会計補正予算(第4号)」、「第19号議案 平成28年度四万十市と畜場会計補正予算(第2号)」、「第21号議案 平成28年度四万十市簡易水道事業会計補正予算(第3号)」について一括審査を行った結果、全会一致で原案のとおり決した。

※職員給与の支給率の変更につき、説明、質疑はなく終了した。

■次に「山村ヘルスセンター等の廃止」について執行部から報告を受けた。

「観光商工課長」 山村ヘルスセンターについては、本年度の3月31日を持ち廃止の方向で検討するというので、1年間の委託契約を行っている。既に建築から38年が経過しており、耐震診断もできていないおらず、利用者の減少で赤字経営になっている。第2次四万十市行政改革大綱の推進計画で見直しを行った。結果、川崎保育所が急傾斜危険区域にあることから、ヘルスセンター跡地が移転先の候補地としてあがり、また移転したいとの話もある。19日に西土佐の区長会があるため、そこで報告をし、廃止の方向で進める。

※質疑はなく終了した。

【山崎委員長】 小休にします。 — 小休中 — 正会にいたします。

※委員長報告の作成については、正副委員長に一任され会議を終了した。